

令和6年度

観光文化スポーツ部運営プログラム

令和6年8月
観光文化スポーツ部

令和6年度 観光文化スポーツ部施策体系

I 第4次山形県総合発展計画の推進

【 】：第4次山形県総合発展計画実施計画の施策番号

1 次代を担い地域を支える人材の育成・確保【1】

- (1) 生涯を通じた多様な学びの機会の充実【1-2】
 - ① 県民や地域に活力をもたらす多様な学びの促進

2 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化【3】

- (2) 国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化【3-3】
 - ② 観光地域づくりの推進
 - ③ 戦略的な誘客促進
 - ④ 地域の特性や魅力を活かした多様な交流の促進

3 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用【5】

- (3) 国内外の活力を呼び込む多様で重層的な交通ネットワークの形成【5-2】
 - ⑤ 国際ネットワークの形成促進
 - ⑥ 国内広域交通ネットワークの充実強化
- (4) 地域の豊かな自然と地球の環境を守る持続可能な地域づくり【5-3】
 - ⑦ 自然環境や文化資産の保全・活用・継承
- (5) 地域の特性を活かし暮らしを支える活力ある圏域の形成【5-4】
 - ⑧ 県を越えた交流連携の推進

令和6年度 観光文化スポーツ部 主要事業

I 第4次山形県総合発展計画の推進

1 次代を担い地域を支える人材の育成・確保【1】

(1) 生涯を通じた多様な学びの機会の充実【1-2】



施策の推進方向と主な取組み

① 県民や地域に活力をもたらす多様な学びの促進

| K P I | 県立文化施設等の来館者数 | | | | | |
|-------|-----------------------|----------|------------|------------|-------|-------|
| | 基準値（平成29年度）： 870,200人 | | | | | |
| | | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| | 指標値 | — | — | 100万人 | 100万人 | 100万人 |
| 実績値 | 583,242人 | 926,826人 | 1,122,781人 | 1,279,180人 | | |

【令和6年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<文化芸術・スポーツ等に触れる機会の充実>

（課題）

- ・ 令和6年3月に策定した「第2期山形県文化推進基本計画」に基づき、本県の文化に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための施策の展開が必要
- ・ 地域コミュニティの弱体化や児童生徒の減少に伴う学校の統廃合に伴い、子どもや若者が文化に親しむ機会が減少しているため、文化を知り、体験し、関心や理解をより深める機会の創出が必要
- ・ 県立博物館においては、生涯学習の拠点施設として幅広い年代層に対応した学びと交流の機会の拡大を図るとともに、地域課題の解決や地域学習活動への支援が必要
- ・ 県民がプロスポーツに親しむ機会や誰もが気軽にスポーツを楽しめる機会の創出が必要

（対応）

- ・ 「第2期山形県文化推進基本計画」に掲げる4つの基本的施策の展開
 - ⇒ 【文化の振興等】
 - ・ 県民芸術祭の開催等による、子どもをはじめ幅広い世代の文化活動への参加意欲の醸成
 - ⇒ 【文化に親しむ環境づくり】
 - ・ 文化芸術団体との連携、支援による県民が文化に触れる機会の創出
 - ・ 山形県総合文化芸術館の規模・機能を活かした魅力ある企画の実施
 - ・ 県立博物館における時機を捉えたテーマの設定や来館者ニーズを踏まえた企画・展示、「実物」の教材を持つ博物館の強みを活かした学校教育等との一層の連携及びデジタル技術を活用した魅力ある博物館展示の実施
 - ⇒ 【文化をはぐくむ人づくり】
 - ・ 児童生徒や親子等が気軽に文化・芸術に触れる機会の拡大
 - ・ 地域の文化・伝統芸能継承のため、文化行事等への児童生徒の幼少期からの参加を促進するとともに、伝統芸能の担い手を育成
 - ⇒ 【文化を活用した社会づくり】
 - ・ 文化施設、地域、大学等が連携した文化イベントの開催等による賑わいづくりの促進
 - ・ プロスポーツ団体への支援やスポーツイベントの開催を通し、県民がスポーツに触れる機会を引き続き提供

【令和6年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|-----------------------------|----------------------|---|--|----------------------|
| 文化団体等連携 支援事業費 | 100,117 (101,356) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・県内の主要な美術館・博物館が実施 する企画展及び山形交響楽団の活 動への支援 | 4 |
| 山形県文化芸術 交流発信事業費 | 29,202 (34,676) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・文化芸術と人・地域をつなぐ「地域 文化コーディネーター」の育成等 | 4 |
| 山形県総合文化 芸術館事業費 | 20,262 (20,600) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・山形県総合文化芸術館を活用した文 化芸術活動の促進 | 4 |
| 文化による地域 への愛着・誇り 醸成事業費 | 2,520 (5,520) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・子どもたちの伝統芸能や文化芸術活 動の発表の場の創出 | 4 |
| 博物館活動整備 事業費 | 10,138 (14,021) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・デジタル技術を活用した魅力ある博 物館展示システム構築等 | 4 |
| プロスポーツ支 援事業費 | 138,337 (138,827) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・県内を拠点とするプロスポーツチ ームへの支援、プロスポーツチームを 活用した地域活性化の取組みへの 支援 | 4 |
| スポーツ振興・ 地域活性化推進 事業費 | 7,326 (17,526) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・山形県スポーツコミッションと連携 し、スポーツ合宿等の県内への誘致 促進やスポーツイベント開催を支 援 | 4 |
| スポーツ県「や まがた」推進事 業費 | 2,834 (3,073) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・県スポーツ・レクリエーション祭に よる県民のスポーツに親しむ機運 の醸成など、ライフステージに応じ たスポーツ活動の推進 | 4 |
| 広域スポーツセ ンター運営費 | 2,042 (1,982) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・誰もがスポーツを気軽に楽しむこと ができる総合型地域スポーツクラ ブの育成 | 4 |
| オリンピックメ ダリスト育成事 業費 | 83,837 (69,294) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・国民スポーツ大会成績向上に向けた 競技力強化の充実、YAMAGATA Aドリームキッズの発掘・育成 | 4 |
| 計 | 396,615 (406,875) | | | |

2 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化【3】

(2) 国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化【3-3】



| | |
|------|----------------------|
| 目標指標 | 観光消費額 |
| | 基準値（平成30年度）： 2,177億円 |
| | 直近値（令和4年度）： 1,528億円 |
| | 目標値（令和6年度）： 2,600億円 |

施策の推進方向と主な取組み

② 観光地域づくりの推進

| | | | | | | |
|--|------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|------------|
| | 観光者数 | | | | | |
| | 基準値（平成30年度）： 46,507千人 | | | | | |
| | | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| | 指標値 | — | — | — ※ | 49,400千人 | 50,000千人 |
| | 実績値 | 27,511千人 | 30,059千人 | 36,034千人 (直近値) | | |
| | 平均宿泊数 | | | | | |
| | 基準値（平成30年）：1.32泊（全国平均：1.33泊） | | | | | |
| | | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| | 指標値 | — | — | — ※ | 全国平均 以上 | 全国平均 以上 |
| | 実績値 | 1.32泊 (全国1.33泊) | 1.42泊 (全国1.33泊) | 1.42泊 (全国1.35泊) | 1.35泊 (全国1.41泊) | |

※ 新型コロナウイルスの影響により動向を見通すことが困難であったため、指標値を設定しなかったもの。

【令和6年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<質の高いツーリズムの推進>

（課題）

- ・ 首都圏など幅広い地域からの観光誘客及び観光消費の拡大に向けた取組みが必要
- ・ 滞在型観光やリピーターに繋がる高付加価値な旅行を推進するため、「新たな視点」を含む「山形でしかできない」、「山形ならではの」の魅力・テーマをストーリーで結ぶツーリズムの発信・展開が必要
- ・ 旺盛なインバウンド需要を好機とした本県への一層の誘客や観光消費額の拡大を推進するため、旅行者のニーズや観光トレンドを踏まえたコンテンツの開発や、本県への高付加価値旅行者層（訪日旅行1回あたりの着地消費額 100万円以上/人）の誘客を進めていくことが必要

（対応）

- ・ 教育旅行の誘致拡大
⇒ 本県が選ばれる教育旅行先となるように探究型学習・SDGs（持続可能な開発目標）に関連した質の高い学習コンテンツの造成や体験プログラムの充実を図り、引き続き首都圏・

関西圏など幅広いエリアの旅行会社及び教育機関へのセールス活動や招請事業を実施

- ・ 山形ならではの魅力的な観光資源を活用した各種ツーリズムを展開
 - ⇒ 令和7年度のさくらんぼ栽培150周年に向けて、県内外における情報発信により「さくらんぼ県やまがた」のブランドイメージを活用した観光誘客事業の展開
 - ⇒ 本県の多様で魅力的な山岳資源を活用した山岳観光の推進
 - ⇒ 「やまがた出羽百観音」等の精神文化、「ラーメン県そば王国やまがた」の取組み、美食・美酒などをテーマに発信・展開し、県内周遊・消費拡大を推進
 - ⇒ JR東日本と連携して実施する「山形県春の観光キャンペーン」（令和6年4月～6月）をはじめ、旅行関連企業（NEXCO、旅行会社等）と連携した観光誘客
 - ⇒ 観光カリスマ等のアドバイザーを招聘し、実践を通じた将来の本県観光を支える人材の育成及びSDGs等の「新たな視点」に基づいたコンテンツ造成、販売等による誘客に向けた取組みの展開
- ・ インバウンド向け観光コンテンツの造成
 - ⇒ 県内のDMOや有識者ととも、訪日外国人旅行者のニーズや観光トレンドを踏まえた新たなコンテンツ造成やプロモーションを実施

<四季のリゾート“世界の蔵王”としての確立>

（課題）

- ・ 冬季はもとよりグリーン期なども含めた通年で、国内外から大勢の観光客が蔵王地域を訪れ楽しむことができるよう、魅力向上や情報発信など、「世界の蔵王」プロジェクト事業を推進することが必要

（対応）

- ・ 蔵王地域における魅力づくりの推進
 - ⇒ 海外からの目線も意識した、他のリゾート地にはない蔵王の四季折々の多彩な魅力に係るコンテンツの充実
 - ⇒ 蔵王地域一体となった戦略や取組みの強化に向け、蔵王温泉、蔵王坊平、蔵王猿倉の各地域間の連携を推進
- ・ 蔵王地域の情報発信の強化
 - ⇒ 総合情報サイトの充実やSNS等を活用した定期的な情報発信など蔵王の知名度向上・誘客促進を狙った情報発信

<観光地域としての受入環境の整備>

（課題）

- ・ 観光地までの二次交通の充実、観光地や宿泊施設等におけるバリアフリー化の更なる促進など、安全・安心・快適な環境の整備に取り組んでいくことが必要
- ・ 県内の旅館・ホテルが世界基準の高付加価値な宿となるための知見の獲得
- ・ 県内における高品質かつ世界基準の滞在体験を提供可能な施設の進出に向けた検討や取組みが必要

（対応）

- ・ 受入環境の整備
 - ⇒ 持続可能な魅力ある観光地域づくりに向けた受入環境の整備を図るため、受入企画や誘客活動と合わせ、二次交通の整備、宿泊施設や観光立寄施設などによるユニバーサルツーリズム等に対応した施設整備やコンテンツ開発への支援を実施
- ・ 宿の高付加価値化に向けた対応
 - ⇒ 県内旅館等が高付加価値な宿づくりに向けて専門家による評価を得るとともに、課題解決に向けた専門家による助言を受けるため、県内の旅館・ホテル、DMO等を対象とした研修会を開催
 - ⇒ 高品質かつ世界基準の滞在体験を提供する宿が進出している先進自治体のノウハウを学ぶための視察を行うとともに、高品質な宿泊施設に係る知見を有する専門家を招請し、県内における滞在品質向上の手がかりを取得

<広域的な交通ネットワークの利便性向上と広域観光周遊ルートの形成>

(課題)

- ・ 旺盛なインバウンド需要を好機として、首都圏（羽田空港・成田空港）や仙台空港から本県への誘客促進が必要
- ・ 高付加価値旅行者のニーズを踏まえた移動手段の検討を行うとともに、実証事業などを通じた具体的な課題の洗い出しが必要。

(対応)

- ・ 首都圏空港や隣県空港から入国した外国人旅行者を本県に誘客するため、旅行会社に対する支援や働きかけを実施
- ・ 仙台国際空港や隣県、関係機関と連携し、仙台空港からの本県周遊プランの周知やアクセス強化等による海外個人旅行層の本県への誘客促進
- ・ 高付加価値旅行者のニーズを踏まえた移動手段の検討
⇒ 移動のシームレス化を実現するため、高付加価値化旅行者が選択し得る交通手段の整理と改善策の検討のための実証事業などを実施

<観光地域づくりの担い手の育成>

(課題)

- ・ おもてなし力の向上・旅行商品の開発など、将来の本県観光を支える人材の育成がこれまで以上に求められている状況
- ・ 地域ごと、事業者ごとの特性を活かしながら、持続可能かつ地域を巻き込んだ取組みを牽引できる人材の確保や育成が必要
- ・ 本県において、高付加価値旅行者層から選ばれるガイド形態が充実していないことから、当該旅行者層のニーズに対応できるガイドが必要

(対応)

- ・ 将来の本県観光を支える人材の確保・育成
⇒ 観光カリスマ等のアドバイザーを招聘し、実践を通じた将来の本県観光を支える人材の育成及びSDGs等の「新たな視点」に基づいたコンテンツ造成、販売等による誘客に向けた取組みの展開（再掲）
⇒ 「山形おもてなしドライバー検定」や、危機管理に関する講座を含めた「山形観光アカデミー」による研修を実施
⇒ 台湾や北東インドなど海外の教育機関や人材派遣機関と県内宿泊施設とのマッチングを支援することで、即戦力となる外国人材の受入機会を創出
- ・ 高付加価値旅行者に対応出来るプロガイドの発掘・育成
⇒ 高付加価値旅行者層向けガイドの担い手の発掘、育成に向けた研修の開催等

【令和6年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|-------------------------------|--------------------|---|--|----------------------|
| 「さくらんぼ県 やまがた」観光 誘客促進事業費 | 14,040 (15,600) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・ 本県さくらんぼのブランド力を活かした観光誘客事業の展開 | 8 |
| 山岳観光推進事業費 | 11,598 (11,598) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・ 四季折々の山の楽しみ方の情報発信や「世界の蔵王」プロジェクト事業の展開など、本県の多様で魅力的な山岳資源を活用した山岳観光の推進 | 8 |
| 精神文化ツーリズム推進事業費 | 10,870 (10,870) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・ 本県の強みである「やまがた出羽百観音」等の精神文化のブランド化に向けた情報発信や精神文化を活用したコンテンツの磨き上げ等 | 8 |

| | | | | |
|----------------------|-----------------------------|---|--|---|
| 教育旅行推進事業費 | 18,073 (18,073) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・旅行会社の招請や貸切バス利用への助成、受入態勢の整備等による教育旅行の誘致活動の推進 | 8 |
| やまがた的グリーン・ツーリズム推進事業費 | 10,458 (10,734) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・農泊や農家レストラン、自然・文化体験等のグリーン・ツーリズム情報の発信、受入態勢の整備等 | 8 |
| 地域広域観光推進事業費 | 12,432 (12,432) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・総合支庁における地域の広域観光協議会と連携した観光誘客や観光資源の磨き上げ | 8 |
| 観光誘客総合推進事業費 | 53,890 の一部 (67,601) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・観光カリスマ等のアドバイザーを活用し、コンテンツ造成などの実践を通じた将来の本県観光を支える人材の育成等 | 8 |
| 観光連携推進事業費 | 87,404 の一部 (83,725) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・観光事業者を対象とした人材研修等を実施する「山形観光アカデミー」の運営やボランティアガイド養成への支援 | 8 |
| 高付加価値な観光地づくり推進事業費 | 50,545 (-) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | ・観光消費額の拡大に向け、訪日外国人旅行者の中でも消費額が高い層をターゲットにした付加価値が高い観光地づくりの推進、外国人材の活用等 | 8 |
| インバウンド拡大に向けた誘客促進事業費 | 236,882 (187,202) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・県内空港へのチャーター便の誘致や本県を周遊し宿泊するインバウンド旅行商品の造成支援、仙台空港と本県とのアクセス向上のためのバス運行への支援 | 8 |
| 計 | 506,192 の一部 (417,835) | | | |

③戦略的な誘客促進

| | | | | | | |
|-------|----------------------|----------|---------|---------|-------------------|----------|
| K P I | 県観光情報ポータルサイトのアクセス件数 | | | | | |
| | 基準値（平成30年度）：229万件 | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 240万件 | 280万件 | 310万件 | 330万件 | 350万件 |
| | 実績値 | 162万件 | 215万件 | 364万件 | 409万件 | |
| | 外国人旅行者受入数 | | | | | |
| | 基準値（平成30年度）：252,289人 | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | — | — | — ※ | 520,000人 | 600,000人 |
| | 実績値 | 125,930人 | 17,083人 | 56,051人 | 400,338人 (速報値) | |

| | | | | | |
|-------------------------|-----------|-----------|-----------|---------------|---------------|
| 延べ外国人旅行者宿泊者数 | | | | | |
| 基準値（平成 30 年）：163,460 人泊 | | | | | |
| | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| 指標値 | — | — | —※ | 345,000 人泊 | 400,000 人泊 |
| 実績値 | 87,440 人泊 | 15,920 人泊 | 25,900 人泊 | 178,790 人泊 | |

※ 新型コロナウイルスの影響により動向を見通すことが困難であったため、指標値を設定しなかったもの。

【令和 6 年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

＜観光関連産業の活性化＞

（課題）

- ・ 県内観光事業者の経営力強化を推進するため、県内観光事業者のDX化、施設やサービスの高付加価値化に向けた取組みへの支援が必要
- ・ 首都圏など幅広い地域からの観光誘客・観光消費の拡大に向けて、「新たな視点」を含む「山形でしかできない」、「山形ならではの」の魅力・テーマをストーリーで結ぶツーリズムの発信・展開が必要
- ・ 旺盛なインバウンド需要を好機とした本県への一層の誘客や観光消費額の拡大を推進するため、旅行者のニーズや観光トレンドを踏まえたコンテンツ開発や、本県への高付加価値旅行者層（訪日旅行 1 回あたりの着地消費額 100 万円以上／人）の誘客を進めていくことが必要（再掲）

（対応）

- ・ 県内観光事業者への支援
 - ⇒ 観光事業者が行う観光DXの推進や高付加価値化に向けた取組みに対する助成、観光業に精通した専門アドバイザーの派遣による伴走支援を実施
- ・ 山形ならではの魅力的な観光資源を活用した各種ツーリズムを展開
 - ⇒ 令和 7 年度のさくらんぼ栽培 150 周年に向けて、県内外における情報発信により「さくらんぼ県やまがた」のブランドイメージを活用した観光誘客事業の展開（再掲）
 - ⇒ 本県の多様で魅力的な山岳資源を活用した山岳観光の推進（再掲）
 - ⇒ 「やまがた出羽百観音」等の精神文化、「ラーメン県そば王国やまがた」の取組み、美食・美酒などをテーマに発信・展開し、県内周遊・消費拡大を推進（再掲）
 - ⇒ JR 東日本と連携して実施する「山形県春の観光キャンペーン」（令和 6 年 4 月～6 月）をはじめ、旅行関連企業（NEXCO、旅行会社等）と連携した観光誘客（再掲）
 - ⇒ 観光カリスマ等のアドバイザーを招聘し、実践を通じた将来の本県観光を支える人材の育成及びSDGs等の「新たな視点」に基づいたコンテンツ造成、販売等による誘客に向けた取組みの展開（再掲）
- ・ インバウンド向け観光コンテンツの造成
 - ⇒ 県内のDMOや有識者とともに、訪日外国人旅行者のニーズや観光トレンドを踏まえた新たなコンテンツ造成やプロモーションを実施（再掲）

＜情報発信の強化＞

（課題）

- ・ 県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」、多言語版の県観光情報ポータルサイト「STAY YAMAGATA」について、アクセス数を増やし本県観光の認知度向上を図ることが必要
- ・ テレビやSNS媒体を活用して本県の魅力ある観光情報を発信し、首都圏等からの誘客を促進することが必要

（対応）

- ・ 県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」、多言語版の県観光情報ポータルサイト「STAY YAMAGATA」の充実及び利用者の拡大

- ⇒ 特集記事等のコンテンツ追加及び新たな海外向けプロモーション動画制作によるサイトの充実、並びに、現地観光コーディネーターによる情報発信及び各種プロモーションを通じたサイトの利用者拡大
- ⇒ 東京都との観光連携 Web サイトから「やまがたへの旅」や「STAY YAMAGATA」への誘導・サイト利用者の拡大
- ・ 観光情報番組制作及び放映
- ⇒ 首都圏からの観光誘客の拡大を図るため、観光情報番組を制作・放映し、本県の魅力ある観光情報を発信

<「観光デジタルマーケティング」の推進>

(課題)

- ・ 旅行者の嗜好の多様化や個人客の増加に伴い、個々のニーズや興味関心を的確に捉えた情報を適切なタイミングで発信することがより必要
- ・ 県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」や類似サイト、SNS のアクセスデータ、動態データ及び消費データ等を分析し、データに基づいて旅行者のニーズや観光トレンドを見極め、施策に反映していくことが必要

(対応)

- ・ 観光デジタルマーケティングによる国内外からの誘客推進
 - ⇒ 民間企業と協働したデジタル技術の活用によるマーケティング調査とデータ分析を踏まえた周遊型観光の促進
 - ⇒ 県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」や類似サイト、SNS のアクセスデータ、動態データ及び消費データ等の広域観光データの分析・評価によるプロモーションの実施

<インバウンドの推進>

(課題)

- ・ 本県空港への国際チャーター便の就航に向け、現地観光コーディネーター等と連携した継続的な誘致活動が必要
- ・ 旺盛なインバウンド需要を好機として、首都圏（羽田空港・成田空港）や仙台空港から本県への誘客促進が必要（再掲）
- ・ 外航クルーズ船の継続的な寄港を目指し、継続的な誘致活動が必要
- ・ 旺盛なインバウンド需要を好機とした本県への一層の誘客誘客や観光消費額の拡大を推進するため、旅行者のニーズや観光トレンドを踏まえたコンテンツ開発への支援が必要
- ・ 富裕層と直接つながる欧米豪市場の現地ツアーオペレーターに、県内の観光資源を理解してもらい、「売れる」旅行商品造成のフィードバックを得るとともに、現地ツアーオペレーターとのコネクションも構築していくことが必要

(対応)

- ・ ニーズを捉えた誘客推進
 - ⇒ 台湾等からの秋冬季における国際チャーター便の就航に向け、チャーター便を運航する航空会社やツアーを催行する旅行会社への支援・働きかけを実施
 - ⇒ 首都圏空港や隣県空港から入国した外国人旅行者を本県に誘客するため、旅行会社に対する支援や働きかけを実施（再掲）
 - ⇒ 仙台国際空港や隣県、関係機関と連携し、仙台空港からの本県周遊プランの周知やアクセス強化等による海外個人旅行層の本県への誘客促進（再掲）
 - ⇒ 近隣県と連携し、寄港決定権のある船会社の海外幹部等の招請など外航クルーズ船の誘致活動や関係機関と連携した受入態勢づくり
- ・ インバウンド向け観光コンテンツ造成の実施
 - ⇒ 県内の DM0 や有識者とともに、訪日外国人旅行者のニーズや観光トレンドを踏まえた新たなコンテンツ造成やプロモーションを実施（再掲）

【令和6年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|--|-----------------------------|---|--|----------------------|
| デジタル活用観光誘客事業費 | 44,332 (-) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | ・「ラーメン県そば王国やまがた」の取組みを核としたデジタル技術の活用によるマーケティング調査とデータ分析を踏まえた周遊型観光の促進 | 8 |
| 観光キャンペーン推進事業費 | 32,160 (29,160) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | ・JR東日本と連携した「山形県春の観光キャンペーン」の開催【新規】など、官民一体となった誘客拡大に向けた取組みの推進 | 8 |
| 観光誘客総合推進事業費（再掲） | 53,890 の一部 (67,601) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・観光カリスマ等のアドバイザーを活用し、コンテンツ作成などの実践を通じた将来の本県観光を支える人材の育成等 ・東京都と連携した観光誘客事業の展開、多様な媒体を活用した情報発信による観光PR等 | 8 |
| 観光情報番組放映事業費 | 31,168 (31,254) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・首都圏等からの観光誘客拡大を図るための観光情報番組の制作及び放映 | 8 |
| DX総合推進事業費【産業労働部所管事業】のうち、観光業専門アドバイザー派遣事業 | 29,159 の一部 (21,145) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・観光事業者のDX推進や経営改善等に向けた観光業専門アドバイザーの派遣による伴走支援 | 8 |
| 中小企業パワーアップ事業費【産業労働部所管事業】のうち、観光施設経営強化支援事業 | 218,656 の一部 (418,799) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・観光事業者が行う観光DXの推進や高付加価値化に向けた取組みに対する助成 | 8 |
| 高付加価値な観光地づくり推進事業費（再掲） | 50,545 (-) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | ・観光消費額の拡大に向け、訪日外国人旅行者の中でも消費額が高い層をターゲットにした付加価値が高い観光地づくりの推進、外国人材の活用等 | 8 |
| インバウンド拡大に向けた誘客促進事業費（再掲） | 236,882 (187,202) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・県内空港へのチャーター便の誘致や本県を周遊し宿泊するインバウンド旅行商品の造成支援、仙台空港と本県とのアクセス向上のためのバス運行への支援 | 8 |
| 外航クルーズ船誘客事業費 | 15,746 (18,246) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・外航クルーズ船の寄港拡大に向けたプロモーションの展開や受入態勢の整備 | 8 |
| 広域連携インバウンド推進事業費 | 23,182 (43,344) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・東北観光推進機構や東北各県などと連携したインバウンド誘客事業の展開及び広域観光データの分析 | 8 |

| | | | | |
|---------------------|-----------------------------|---|--|---|
| | | | 活用等 | |
| 重点市場における現地情報発信強化事業費 | 35,104 (15,754) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・海外現地観光コーディネーターによる現地情報の収集や本県観光情報の発信などによる重点市場（台湾、中国、香港、韓国、ASEAN）からの誘客促進 | 8 |
| 地域間交流・海外教育旅行推進事業費 | 11,580 (2,380) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | ・海外との相互交流拡大に向けたパスポート取得支援、海外教育旅行の誘致に向けたプロモーションの展開等 | 8 |
| 計 | 782,404 の一部 (834,885) | | | |

④地域の特性や魅力を活かした多様な交流の促進

| | | | | | | |
|-------|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| K P I | 県内への文化・スポーツ合宿の新規誘致数 | | | | | |
| | 基準値（令和元年度）：3団体 | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | — | — ※ | 3団体 | 3団体 | 3団体 |
| | 実績値 | 1団体 | 0団体 | 3団体 | 3団体 | |

※ 新型コロナウイルスの影響により動向を見通すことが困難であったため、指標値を設定しなかったもの。

【令和6年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<文化芸術活動・スポーツを通じた交流の促進>

（課題）

- ・ 本県における文化行政の基本方針を定めた「山形県文化基本条例」をより実効性のあるものとするため、同条例に基づく「第2期山形県文化推進基本計画」に沿った基本的施策の展開が必要
- ・ 県民の文化芸術活動の拠点である山形県総合文化芸術館をはじめ、県内の文化施設における文化芸術に親しむ機会の更なる充実が必要
- ・ 文化・スポーツ合宿のさらなる誘致活動や県民のスポーツに触れる機会の創出が必要

（対応）

- ・ 「第2期山形県文化推進基本計画」に掲げる4つの基本的施策（「文化の振興等」、「文化に親しむ環境づくり」、「文化をはぐくむ人づくり」、「文化を活用した社会づくり」）に沿った事業を展開
- ・ 魅力的な公演や展示、文化の担い手育成事業の充実
 - ⇒ 山形県総合文化芸術館など、県内の文化施設等における企画充実
 - ⇒ 県立博物館における時機を捉えたテーマの設定や来館者ニーズを踏まえた魅力ある企画・展示の推進
 - ⇒ 山形交響楽団の東京公演における本県の文化・物産のPR
 - ⇒ 文化芸術団体との連携、支援による県民の文化に触れる機会の創出
 - ⇒ 児童生徒や親子等が気軽に文化・芸術に触れる機会の拡大
- ・ スポーツコミッションの推進
 - ⇒ 県内の文化・スポーツ施設や宿泊施設等を活用した新たな団体による合宿の誘致及びスポーツイベントの開催

<海外との相互交流の促進>

(課題)

- ・ 地域間の交流活動や将来の本県への来訪者数の増大に資する取組みの推進が必要
- ・ 東京 2020 オリンピック・パラリンピックのホストタウンを契機とした相手国・地域との国際交流が希薄化

(対応)

- ・ 県民のパスポート取得促進による海外との相互交流の促進
⇒ 海外旅行の需要を喚起し、県民の国際相互交流と国際理解を促進
- ・ 本県にゆかりがあり、本県の魅力や観光等の積極的なPRが期待される海外在住者を「やまがた特命観光・つや姫大使」に委嘱し、本県への観光誘客や国際交流を促進
- ・ ホストタウンとの交流を継続する市町村の事例を紹介し、スポーツを通じた国際交流の拡大を引き続き促進

【令和6年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|-------------------------------------|----------------------|---|---|----------------------|
| 文化団体等連携 支援事業費（再 掲） | 100,117 (101,356) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・ 県内の主要な美術館・博物館が実施 する企画展及び山形交響楽団の活 動への支援 | 8 |
| 文化による地域 への愛着・誇り 醸成事業費（再 掲） | 2,520 (5,520) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・ 子どもたちの伝統芸能や文化芸術 活動の発表の場の創出 | 8 |
| 山形県総合文化 芸術館事業費 （再掲） | 20,262 (20,600) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・ 山形県総合文化芸術館を活用した 文化芸術活動の促進 | 8 |
| 博物館活動整備 事業費 （再掲） | 10,138 (14,021) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・ デジタル技術を活用した魅力ある 博物館展示システムの構築等 | 8 |
| 博物館運営費 | 112,982 (23,511) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | ・ 県立博物館の管理運営及び快適な 利用環境維持のための施設・設備の 修繕、展示パネルの更新等 | 8 |
| 文化財保護事業 費 | 82,038 (52,858) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・ 国・県指定文化財の保存修理や維持 管理に対する支援 | 8 |
| 「未来に伝える 山形の宝」登録 制度推進事業費 | 2,026 (3,006) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・ 有形・無形の様々な文化財を地域で 守り活かす取組みの推進 | 8 |
| 日本遺産魅力発 信推進事業費 | 1,900 (1,900) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・ 日本遺産「出羽三山『生まれかわり の旅』」及び「山寺と紅花」の総合 的な活用・情報発信 | 8 |
| スポーツ振興・ 地域活性化推進 事業費（再掲） | 7,326 (17,526) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・ 山形県スポーツコミッションと連 携し、スポーツ合宿等の県内への誘 致促進やスポーツイベント開催を 支援 | 8 |
| プロスポーツ支 援事業費（再 掲） | 138,337 (138,827) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・ 県内を拠点とするプロスポーツチ ームへの支援、プロスポーツチ ームを活用した地域活性化の取組みへ の支援 | 8 |

| | | | | |
|-----------------------|----------------------|---|--|---|
| スポーツ県「やまがた」推進事業費（再掲） | 2,834 (3,073) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・県スポーツ・レクリエーション祭による県民のスポーツに親しむ機運の醸成など、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 | 8 |
| オリンピックメダリスト育成事業費（再掲） | 83,837 (69,294) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・国民スポーツ大会成績向上に向けた競技力強化の充実、YAMAGATA ドリームキッズの発掘・育成 | 8 |
| 地域間交流・海外教育旅行推進事業費（再掲） | 11,580 (2,380) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | ・海外との相互交流拡大に向けたパスポート取得支援、海外教育旅行の誘致に向けたプロモーションの展開等 | 8 |
| 計 | 575,897 (453,872) | | | |

3 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用【5】

(3) 国内外の活力を呼び込む多様で重層的な交通ネットワークの形成【5-2】



施策の推進方向と主な取組み

⑤ 国際ネットワークの形成促進

| K P I | 外国人旅行者受入数（再掲） | | | | | |
|-------|----------------------|---------|---------|-------------------|----------|----------|
| | 基準値（平成30年度）：252,289人 | | | | | |
| | | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| | 指標値 | — | — | —※ | 520,000人 | 600,000人 |
| 実績値 | 125,930人 | 17,083人 | 56,051人 | 400,338人 (速報値) | | |

※ 新型コロナウイルスの影響により動向を見通すことが困難であったため、指標値を設定しなかったもの。

【令和6年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<三大都市圏や近隣県の国際空港との連携>

（課題）

- ・ 旺盛なインバウンド需要を好機として、首都圏（羽田空港・成田空港）や仙台空港から本県への誘客促進が必要（再掲）

（対応）

- ・ ニーズを捉えた誘客促進
 - ⇒ 首都圏空港や隣県空港から入国した外国人旅行者を本県に誘客するため、旅行会社に対する支援や働きかけを実施（再掲）
 - ⇒ 仙台国際空港や隣県、関係機関と連携し、仙台空港からの本県周遊プランの周知やアクセス強化等による海外FIT（個人旅行）層の本県への誘客促進（再掲）

<広域的な移動を支える二次交通の充実>

（課題）

- ・ 観光地までの二次交通の充実など、観光客等の移動の利便性向上に取り組んでいくことが必要
- ・ 高付加価値旅行者のニーズを踏まえた移動手段の検討を行うとともに、実証事業などを通じた具体的な課題の洗い出しが必要（再掲）

（対応）

- ・ 持続可能な魅力ある観光地域づくりに向けた受入環境の整備を図るため、受入企画や誘客活動と合わせ、二次交通整備・おもてなしへの支援を実施
- ・ 高付加価値旅行者のニーズを踏まえた移動手段の検討
 - ⇒ 移動のシームレス化を実現するため、高付加価値化旅行者が選択し得る交通手段の整理と改善策の検討のための実証事業などを実施（再掲）

<酒田港の機能強化>

（課題）

- ・ 外航クルーズ船の継続的な寄港を目指し、継続的な誘致活動が必要（再掲）

（対応）

- ・ ニーズを捉えた誘客推進
 - ⇒ 近隣県と連携し、寄港決定権のある船会社の海外幹部等の招請など外航クルーズ船の誘

致活動や関係機関と連携した受入態勢づくり（再掲）

【令和6年度関連事務事業】

（単位：千円）

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|-------------------------|----------------------|---|--|----------------------|
| 観光キャンペーン推進事業費 (再掲) | 32,160 (29,160) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | ・JR東日本と連携した「山形県春の観光キャンペーン」の開催【新規】など、官民一体となった誘客拡大に向けた取組みの推進 | 11 |
| 外航クルーズ船誘客事業費（再掲） | 15,746 (18,246) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・外航クルーズ船の寄港拡大に向けたプロモーションの展開や受入態勢の整備 | 11 |
| インバウンド拡大に向けた誘客促進事業費（再掲） | 236,882 (187,202) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・県内空港へのチャーター便の誘致や本県を周遊し宿泊するインバウンド旅行商品の造成支援、仙台空港と本県とのアクセス向上のためのバス運行への支援 | 11 |
| 計 | 284,788 (234,608) | | | |

⑥国内広域交通ネットワークの充実強化

【令和6年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<広域的な移動を支える二次交通の充実>

（課題）

- ・観光地までの二次交通の充実など、観光客等の移動の利便性向上に取り組んでいくことが必要（再掲）

（対応）

- ・持続可能な魅力ある観光地域づくりに向けた受入環境の整備を図るため、受入企画や誘客活動と合わせ、二次交通整備・おもてなしへの支援を実施（再掲）

【令和6年度関連事務事業】

（単位：千円）

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|-----------------------|--------------------|---|--|----------------------|
| 観光キャンペーン推進事業費 (再掲) | 32,160 (29,160) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | ・JR東日本と連携した「山形県春の観光キャンペーン」の開催【新規】など、官民一体となった誘客拡大に向けた取組みの推進 | 11 |
| 計 | 32,160 (29,160) | | | |

(4)地域の豊かな自然と地球の環境を守る持続可能な地域づくり【5-3】



施策の推進方向と主な取組み

⑦自然環境や文化資産の保全・活用・継承

| | | | | | | |
|-------|------------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|------------------|------------------|
| K P I | 地域の伝統・文化行事等に参加している児童生徒の割合 | | | | | |
| | 基準値（令和元年度）：小6：85.7%、中3：65.9% | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | — | —※ | 小6：90% 中3：70% | 小6：90% 中3：70% | 小6：90% 中3：70% |
| 実績値 | — | 小6：77.0% 中3：59.8% | 小6：71.6% 中3：55.3% | 小6：75.6% 中3：49.0% | | |

※ 新型コロナウイルスの影響により動向を見通すことが困難であったため、指標値を設定しなかったもの。

【令和6年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

| |
|--|
| <p><文化資産の活用・継承> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 過疎化・少子高齢化などを背景に、地域の担い手の減少や文化財の滅失、散逸等の防止が喫緊の課題であるとともに、文化財の活用による地方創生や地域活性化など文化財に求められる役割への期待が増大 これまで継承されてきた地域の伝統文化や民俗芸能の活動継続が困難となっているなか、地域の伝統文化を体験する機会が減少 広く県民に対し、埋蔵文化財の普及啓発の実施が必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財の活用による地方創生・地域活性化 ⇒ 「山形県文化財保存活用大綱」に基づく、文化財を確実に次世代へ継承するための保存と活用の好循環につながる取組みの実施 伝統文化・民俗芸能の継承 ⇒ 「未来に伝える山形の宝」への登録促進や登録団体への支援を通じた地域で守り伝えられている「山形の宝」の未来への継承 ⇒ 公演の中止等、無形民俗文化財に係る発表状況の把握と対応方法等に関する関係団体への情報提供の実施及び発表の場の創出 ⇒ 県内各地に継承されている民俗芸能の魅力発信及び団体同士のゆるやかなネットワーク構築への支援 日本遺産の活用 ⇒ 関係機関と連携した、観光振興、人材育成、普及啓発等に関する事業の実施を通じた文化財の次代への継承に向けた取組みの推進や日本遺産を活用したストーリー体験の充実に資する取組みの推進 |
|--|

【令和6年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連するSDGsの ゴール |
|-----------------------|------------------|---|------------------------------|------------------|
| 「未来に伝える山形の宝」登録制度推進事業費 | 2,026 (3,006) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・有形・無形の様々な文化財を地域で守り活かす取組みの推進 | 8 |

| | | | | |
|-----------------------|----------------------|---|--|---|
| (再掲) | | | | |
| 日本遺産魅力発信推進事業費 (再掲) | 1,900 (1,900) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・日本遺産「出羽三山『生まれかわりの旅』」及び「山寺と紅花」の総合的な活用・情報発信 | 8 |
| 文化財保護事業費 (再掲) | 82,038 (52,858) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・国・県指定文化財の保存修理や維持管理に対する支援 | 8 |
| 埋蔵文化財保護事業費 | 41,544 (54,544) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・埋蔵文化財発掘調査及び埋蔵文化財の普及啓発の実施 | 8 |
| 計 | 127,508 (112,308) | | | |

(5) 地域の特性を活かし暮らしを支える活力ある圏域の形成【5-4】



施策の推進方向と主な取組み

⑧県を越えた交流連携の推進

【令和6年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

| |
|--|
| <p><多様な分野における近隣県等との交流連携の推進></p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際定期便の運航が活発な仙台空港から本県への誘客促進が必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> 仙台国際空港や隣県、関係機関と連携し、仙台空港からの本県周遊プランの周知やアクセス強化等による海外FIT（個人旅行）層の本県への誘客促進（再掲） <p><目的指向型の国際交流・連携の推進></p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域間の交流活動や将来の本県への来訪者数の増大に資する取組みの促進（再掲） 東京2020オリンピックのホストタウンを契機とした相手国・地域との交流が希薄化しているため、海外や県外からの文化・スポーツ合宿の積極的な誘致が必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民のパスポート取得促進による海外との相互交流促進 ⇒ 海外旅行の需要を喚起し、県民（若者等）の国際相互交流と国際理解を促進（再掲） 本県にゆかりがあり、本県の魅力や観光等の積極的なPRが期待される海外在住者を「やまがた特命観光・つや姫大使」に委嘱し、本県への観光誘客や国際交流を促進（再掲） 海外や県外からの文化・スポーツ合宿を行う団体を引き続き支援 |
|--|

【令和6年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|-------------------------|----------------------|---|---|----------------------|
| インバウンド拡大に向けた誘客促進事業費（再掲） | 236,882 (187,202) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・ 県内空港へのチャーター便の誘致や本県を周遊し宿泊するインバウンド旅行商品の造成支援、仙台空港と本県とのアクセス向上のためのバス運行への支援 | 11 |
| 重点市場における現地情報発信強化事業費（再掲） | 35,104 (15,754) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・ 海外現地観光コーディネーターによる現地情報の収集や本県観光情報の発信などによる重点市場（台湾、中国、香港、韓国、ASEAN）からの誘客促進 | 11 |
| 地域間交流・海外教育旅行推進事業費（再掲） | 11,580 (2,380) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | ・ 海外との相互交流拡大に向けたパスポート取得支援、海外教育旅行の誘致に向けたプロモーションの展開等 | 11 |
| スポーツ振興・地域活性化推進事業費（再掲） | 7,326 (17,526) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・ 山形県スポーツコミッションと連携し、スポーツ合宿等の県内への誘致促進やスポーツイベント開催を支援 | 11 |
| 計 | 290,892 (222,862) | | | |